

# ローレンシャンインターナショナルスクール

## リーダーとしての 人間的魅力を育てる総合私塾



中村和世校長

欧米の名門プライベートスクールのコンセプトを軸に、世界に通用するリーダーを育てるための教育に取り組む魅力的な私塾が、名古屋市にある。地元財界からも熱い視線を注がれるそのスクールの目的とは？取材は子供たちによる驚きの「プレゼンテーション大会」から始まった。

興味の糸口から  
枝葉が広がる

運動会・文化祭真っ盛りのは九月最後の土曜日。名古屋市にあるローレンシャンインターナショナルスクールの入り口には、「プレゼンテーション大会」のため、生徒と保護者が続々と集まってきた。この催しは、同スクールの小学校低学年向けプログラムの柱の一つ。子供たちは、家業にまつわる歴史や実際に体験したことなどから興味を持ったテーマを選び、一年近くかけてじっくりと調べる。その成果を保護者や来賓の方々に発表するのだ。

それぞれの堂々としたプレゼンぶりもさることながら、驚くのはテーマ選択だ。「猿楽能」「弓道とアーチェリーの違い」「神道と仏教について」など。これが小学校低学年の子供たちによる調べ学習のテーマだと誰が思うだろうか。しかし、驚くほどのことではないと同スクールの中村和世校長は言い、子供の能力と可能性にもっと目を向けるべきだと語る。

### 幼児プログラム

1歳半～。1対1のプライベートレッスンとグループレッスンを通じ、知能教育と体験教育（野菜収穫、美術館見学など）を総合的に実施。小学校受験にも対応する。

「幼児期からさまざまな文化体験、自然体験を積み重ねている子供たちは、ちょっとした興味や糸口から、自分でどんどん枝葉を広げていきます。一つのことを知ると次の疑問

### 体験の積み重ねから 思考力の育成へとつなげる

同スクールは、もともと大学受験までカバーする少数精鋭学習塾だったが、六年前、後継の中村校長の代になってから、幼児教育・英会話教育を中心としたグローバルな人材育成スクールへと



落ち着いた話し方、要点のまとめ方など、大人顔負けの堂々たるプレゼンをする子供たち。ゲストは武道と伝統芸能を融合させた源光士郎さん。

が出てくるし、それを調べたいから難しい漢字もどんどん読めるようになり。また、友達と意見交換するなかで新しい発見をし、子供同士の結論を導き、それを他の人にわかりやすく伝えるにはどうしたらいいのか工夫する。その過程がとても大事なのです」

学習発表は、通常の小中学校課程でも各学年のレベルで実施しているが、同スクールの方法論とは似て非なるもの。子供一人ひとりの興味に寄り添い、広げていくプログラムは、他のスクール・塾でも類を見ないだろう。

「これまで日本の優秀な子供たちがやってきたことは、もっぱら先取り学習であり、ドリル学習です」しかしそれでは物事をパターン化して素早く処理することがうまくなるだけで、リーダーとして不可欠な判断力、思考力、問題提起力、そして本当の意味での語学力が身に付かないと中村校長は言う。

### 欧米名門プライベート スクールプログラム

小学校5年～。小学校での短期留学、中学からの正式留学に向け、国内外の古典教養などを身につける。



ローレンシャン  
インターナショナルスクール  
愛知県名古屋市東区出来町1-9-9  
TEL 052-932-1353  
http://www.iq-kids.net/

### 特別プログラム

幼児～。種子島宇宙センター&屋久島合宿、伝統芸能の鑑賞、熱田神宮見学、徳川園での春の子供茶会など。



たとえば利尻昆布と羅臼昆布の出汁を飲んで、「どう違う？」とたずねると、「こっちは踊りたくなるような味がする」と表現した子がいたという。その感性を誉め、共感することでその味覚体験は生きてくる。そして、比較表現の重要性もここで「体験」できるのだ。

「一〇歳から論理的な思考ができるようになる」といいますが、実はそこまでどんな体験をしてきたかが重要。それを私は思考の基礎力と呼んでいます。それがないと思考力も伸びません」と中村校長。

同スクールでは小学受験にも対応しているが、いわゆる受験用のドリル学習はしないにもかかわらず、地元で名門といわれる南山小学校などへの合格者を輩出。教育関係者の注目を浴びている。

### 文化・歴史を通じ自分の バックボーンを形成

さらに同スクールでは、小学生以上を対象にしたプログラムを用意。先に紹介したプレゼンテーションや討論を通して「思考力」を磨いていく。その中心となるのは、自国の文化であり歴史を学ぶことだ。特に海外留学を視野に入れて、小学校高学年以上の生徒に対しては、徹底的に古典を読ませる海外エリートたちにとって「教養」という言葉は死語ではない。

「語るべきものが何もない人間はリーダーにはなれない」これも海外経験から来る中村校長の強い思いである。

### 英会話プログラム

0歳～。ネイティブの教師とのマンツーマンレッスン。2年で児童英検ゴールド1級レベルを目指す。

寺社への参拝、工作、運動、行儀作法、校外合宿といった多様な体験プログラムと、独自の教材を使った知能開発プログラムを総合的に組み合わせる。ここが同スクールの最大の特徴である。この幼児期からの体験、五感の刺激が重要なことは、脳科学の研究からも裏付けられている。「体験したことを絵や言葉に表現することで積み重なっていくのです」

### 財界のまなざし

中村校長の広い人脈から、東海地方の財界人も同スクールには熱いまなざしを向けている。プレゼンテーション大会にはJR東海副社長の柘植康英氏らが列席。「企業がほしい人材」についてコメントし、「人間的魅力のあるリーダーを育ててほしい」と同スクールへ期待を寄せた。



### グローバルリーダー 育成プログラム

小学生～。文化・歴史について興味のあるテーマをひとつ選び、調べる方法を探り、各自で意見を出し合い、まとめていく。ブロック図、マッピングなどプレゼンテーション方法の基礎も学ぶ。

